

教科	本校児童の学力の実態	実態から身に付けさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○読めるようになることに喜びを感じ、意欲的に音読する児童が多い。 ▲適切に「は」「を」「へ」を使うことができない児童が多い。	・語のまとまりに気を付けて音読する力 ・語と語の続き方に注意しながらつながりのある文を書く力	・図書の時間を活用し、様々な読み物に触れ語彙を増やす。 ・型を提示して繰り返し文を書かせたり、スピーチを行い、主語と述語が一致するようにする。	
算数	○「自分の考えを発表したい」と意欲的な児童が多い。 ▲計算はできるが、文章を読んで理解することができない児童が多い。	・文章を読んで理解し、課題解決する力	・児童の習熟度に合わせて算数クラス編成をする。 ・文章問題や文章問題作りの学習に繰り返し取り組ませる。	
生活	○植物や動物、昆虫への興味・関心が高い児童が多い。 ▲気付いたことを表現することに対し、苦手意識をもっている児童が多い。	・表現することを通して、気付きの質を高める力	・表現する活動を通して、児童同士の気付きを共有できる機会を設ける。	
音楽	○活動に楽しんで取り組む児童が多い。 ▲表現することに対し、苦手意識をもっている児童がいる。	・表現するよさを味わい、主体的に学習に取り組む力	・一人や小グループで表現する機会を多く設定する。	
図工	○新しい活動に対する意欲が高く、楽しみながら取り組める児童が多い。 ▲はさみで切る、のりで接着する等の技能が身に付いていない児童がいる。	・いろいろな表現の良さに気付く力	・鑑賞の学習でICTを活用し、自分以外の作品の良さを具体的に表現させることを繰り返す。 ・様々な図工の技法を経験させ、図工表現の多様性を感じさせる。	
体育	○体育の学習を楽しんでいる児童が多い。 ○体を動かして遊ぶことが好きな児童が多い。 ▲バランスをとったり瞬発力を発揮したりする動きに課題のある児童がいる。	・自分の体をコントロールする力	・活動を始める前にウォーミングアップとして、音楽に合わせたステップを踏んだり様々な向きで走ったりして、バランス感覚を養う。 ・休み時間は外遊びをするように指導する。	